

昭和 63 年農林災害の概要

北大農学部 堀口 郁夫

昭和 63 年（1988 年）に北海道で発生した農林災害は、8 月 12 日から 14 日にかけて十勝・日高方面に降った豪雨による水害、8 月 24 日から 27 日にかけて、北海道西部、特に留萌地方南部から中空知・北空知地方にかけて降った豪雨による水害、11 月 24 日に十勝地方に降った豪雨による水害である。特に、8 月 24 日から 27 日にかけて、降った豪雨による水害は、昭和 56 年（1981 年）8 月の石狩川氾濫による災害以来の大きな水害である。

1. 8 月 24 日～27 日の豪雨による水害

1) 概要

昭和 63 年（1988 年）8 月 24 日から 27 日にかけて、停滞した前線に南から高温多湿な空気が流れ込み、北海道西部、特に留萌地方南部から中空知・北空知地方にかけて短時間に大雨が観測された。そのためこの地方の中小河川が氾濫して大きな農業災害をもたらした。8 月 24 日から 27 日までの降水量は、所により 200 mm 以上に達し、沼田では 425 mm、美唄では 218 mm を記録している。また、1 時間雨量強度では岩見沢で 8 月 26 日 7 時 40 分に 70 mm・留萌で 25 日 19 時 50 分に 58 mm を記録した。そのため主として留萌・空知地方の留萌川や雨龍川などの中小河川が至るところで氾濫した。これによる農業被害は、農作物および営農施設で約 25 億円、被災面積約 9000 ha、被災農家数約 5000 戸であり、農地および農業用施設で約 106 億円、その他工事中の農業用施設の被害約 2 億円であった。この農業被害は、1981 年（昭和 56 年）8 月の石狩川氾濫による災害以来の大きな水害である。

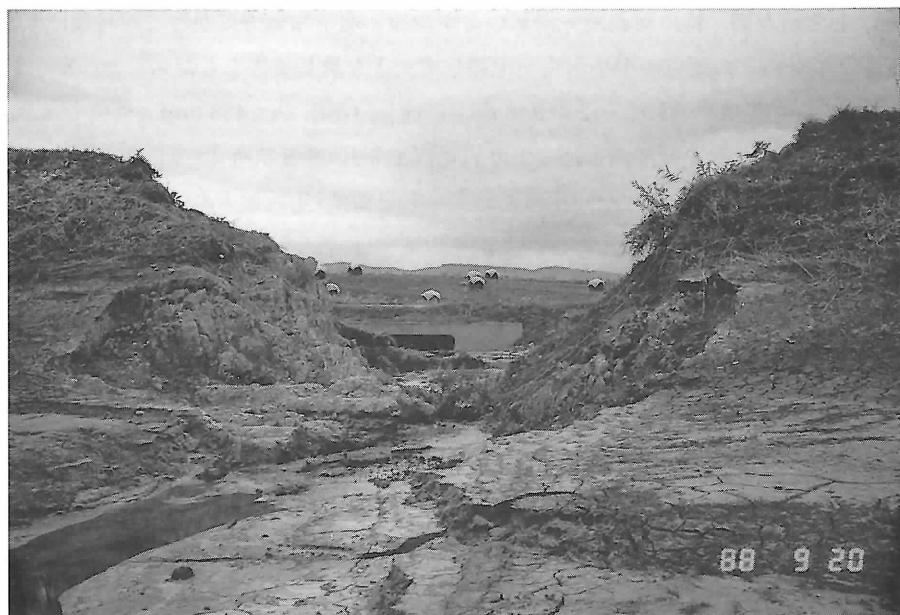
2) 被害の概要

2-1) 全般的な被害の特徴

今回発生した水害を、1975 年（昭和 50 年）8 月と 1981 年（昭和 56 年）8 月の水害と比較すると、これらの年の被害は、石狩川本流の堤防の決壊によるもので、被害地区も石狩川の中流域や下流域の農業地区であったため、田畠の冠水面積が大きくまた施設の被害も比較的大型の



写真一 8月24日～27日の豪雨による農地の流失



写真二 8月24日～27日の豪雨によるため池の決壊

施設の被害が多かった。これに対して、今回の水害は、石狩川支流や中小河川の氾濫によるものであるため、田畠の冠水面積は比較的少なく、また小規模な施設の被害が多かった。しかし、山地や起伏の多い地区であるため、河川が急流であり、流域が比較的小さいため、急激な増水によって至るところで河川が氾濫している。また、所によって土石流が発生した跡が見られ、これによる農地の流失や橋梁の破壊があった。したがって、今回の水害の特徴は、1) 中小河川の氾濫箇所が多い、2) そのため決壊場所付近の農地の流失が多い、3) 急激な増水で所により土石流が発生したと考えられ、河川構造物の破壊が大きい、しかし、4) 田畠の冠水面積は比較的少なく、また施設の被害も小規模なもののが多かった、ことが要約される。

2-2) 農地および農業用施設の被害状況

農地および農業用施設の被害は、7支庁30市町村に及んでいる。主な被害施設は水路、頭首工、ため池、道路、揚水機、橋梁などで、その他に農地の流失の被害も大きい。支庁別・施設別被害の状況を表-1に示す。表-1によると、昭和63年9月13日現在の被害報告では総額が約106億円で、その内農地被害額が約12億円、農業施設被害額が約94億円である。施設別被害では水路の被害が最も多く、470箇所で約46億円の被害報告がある。次いで揚水機、道路、頭首工、ため池などの被害箇所が多い。また、地方別では特に被害が多かったのは空知地方の北竜町、沼田町、深川市などが最も大きな被害を受けた。次いで留萌市、増毛町の被害が多く、この2市3町で全被害額の大部分を占めている。特に被害が多い北竜町では、水路14,858m、水田の流失113.38ha、畑の流失1.37haである（いずれも被害査定量）。

2-3) 農作物・営農施設の被害状況

作物別・営農施設の支庁別被害状況を表-3に示す。被害総額は約25億円であることが報告されている。これらの内被害額が多いのは、水稻で約12億円で、被害面積約5000haにも及ぶ。次いで豆類の約4億円で2000ha、さらに野菜・雑穀と続いている。

また、地方別では空知地方が最も被害が多く全被害額の約80%を占めている。

表-1 農地および農業用施設の支庁別・施設別の被害状況（道農政部）

支 庁		空知	留萌	上川	渡島	十勝	根室	合計
農業用施設	水 路	354 (3298)	100 (939)	4 (70)	7 (197)	5 (74)		470 (4579)
	頭首工	36 (1251)	9 (570)	3 (100)	1 (22)			49 (1942)
	ため池	27 (1786)	1 (40)					28 (1826)
	道 路	48 (142)	5 (9)	1 (4)		1 (6)		55 (161)
	揚水機	49 (509)	20 (88)					69 (597)
	橋 梁	8 (97)	15 (212)					23 (309)
計		522 (7082)	150 (1858)	8 (174)	8 (219)	5 (74)	1 (6)	694 (9413)
農 地		363 (908)	49 (134)		1 (15)	2 (120)		415 (1177)
合 計		855 (7990)	199 (1992)	8 (174)	9 (234)	7 (194)	1 (6)	1109 (10590)

注：上段は箇所数、() 内は被害金額、単位－100万円

：63年9月13日道農政部発表

表-2 直轄工事の農業用施設の被害状況（開発局農水部）

地 区		空知	留萌	合計
農業用施設	水 路	5	0	5
	頭首工	0	0	0
	ため池	0	0	0
	道 路	1	0	1
	揚水機	0	0	0
	橋 梁	0	0	0
その他		0	2	2
計		6 (137)	2 (72)	8 (209)

注：() 内は被害金額、単位－100万円

表-3 作物別、支庁別被害状況

支 庁		空知	留萌	上川	合計
区 分		面積 金額	面積 金額	面積 金額	面積 金額
農 作 物 被 害	水 稲	4040	1050	34	5133
		929,046	271,490	2,858	1,203,394
	畑 作 物 被 害	豆類	2002	60	2098
		357,965	26,785	9,089	393,839
		馬鈴薯	138	3	141
		32,464	2,848	0	35,312
		雜穀	504	3	609
		69,555	502	1,507	71,564
		甜菜	145	3	154
		70,580	1,602	926	73,108
		野菜	731	38	772
		451,772	64,255	1,357	517,384
		飼料作物	145	88	233
		3,242	5,650	0	8,892
		その他	45	0	45
		51,127	0	0	51,027
		畑作計	3710	195	147
		1,036,705	101,642	12,879	4052
					1,151,226
	合 計		7759	1245	9185
			1,965,751	373,132	2,354,620
施 設 そ の 他	當農施設 家 畜 その他の	928 (6)	52	0	986
		90,478	14,473	0	104,951
		0	豚69ミンク20	養蜂50	
		0	0 1,570	2 ,400	3,970
	牧草48.6 t 等 1,935			牧草5.1 t 170	6,150
合 計 (千円)		2,062,164	389,175	18,307	2,469,646
被害農家 (戸)		4,461	426	113	5,000